

人権教育啓発標語入選作品

西小学校

「だいじょうぶー!」なかまはいるよ あなたにも  
 伝えよう 心の中の SOS  
 心の中 やさしい言葉で ひらくかぎ

優秀賞 五年 蓮見 芽生  
 優秀賞 五年 穂積 礼晃  
 最優秀賞 四年 大谷妃眞里

東小学校

だいじょうぶ? それは心の ばんそうこう  
 おたがいの 自分らしさを みとめあおう。  
 やさしさと え顔がつなぐ 心の輪

優秀賞 五年 兵頭 星穂  
 優秀賞 三年 荻原 里紗  
 最優秀賞 四年 尾花 信

人権教育啓発ポスター入選作品

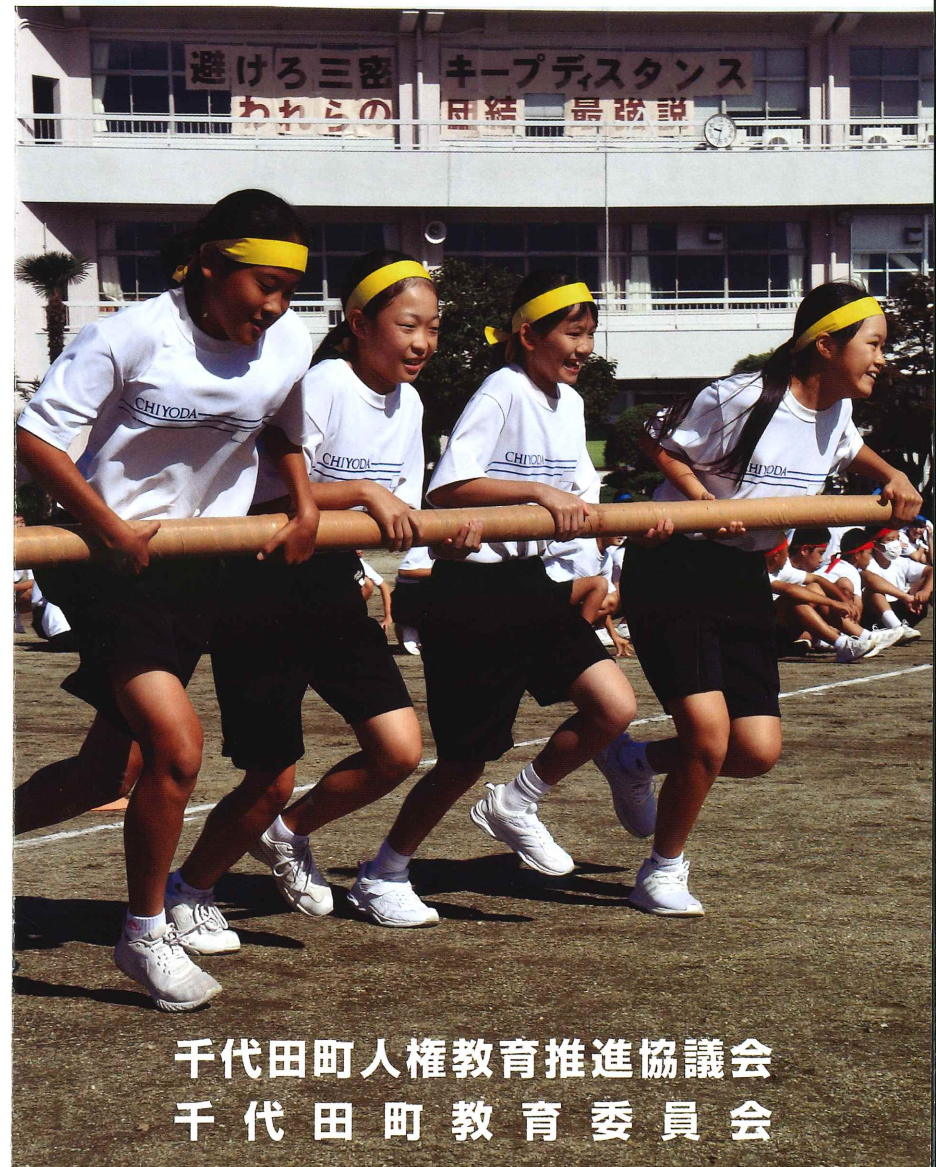
《中学生の部》



千代田中学校1年 おおさわ みらい 大澤 未来 (最優秀賞)



令和2年度 人権教育啓発資料



千代田町人権教育推進協議会  
 千代田町教育委員会

## 人権教育啓発作文入選作品

「たった一言が人の心を傷つける、たった一言が人の心を温める。」  
 これは、私が小学五・六年生の時に担任だった先生がよくおっしゃっていた言葉です。私はこの言葉を聞いたときに、あることを思い出してしまいます。  
 それは、小学六年生の時の事です。当時、私は同じクラスの女子三人グループで仲良くしていました。何をやるにもいつも一緒に、毎日楽しく過ごしていました。  
 二期期に入り、修学旅行が近づいてきました。クラスの中でも修学旅行のグループ決めについて話しているクラスメイトが増えてきました。私たち三人組も「同じグループになろうね。楽しみだね。」と約束をしていました。そして迎えたグループ決め当日。私は仲良しグループ三人組で同じグループになれると思っていました。  
 とところが、他の二人から出てきた言葉は、とても意外なものでした。「女子三人組のグループになると、一緒にいる他のメンバーがイマイチだから、あなたが抜けて。」と言うのです。

私はショックで一瞬何を言われたのか分からなくなるほどの衝撃を受け言葉を失いました。それを私に告げた友達、悪びれたそぶりもなく、いつもと変わらず私がすぐに納得するかのような口調で伝える姿にさらにショックを受けました。そのあとも私は言葉がつまり、何も言うことが出来なくなっていました。まさに担任の先生がよくおっしゃっていた「たった一言が心を傷つける」というのを、身をもって経験した瞬間でした。  
 その後、担任の先生のおかげで二人とは仲直りすることが出来ました。けれど、仲直りをしたからと言って私が友達から言われた言葉は忘れられるはずもなく、心の中に残っています。言われた側は「ごめんさい」で終わったと思うかもしれないけど、言われた側の嫌な気持ちはずっと続きます。  
 今はまだあの時のことを笑って話せる日が来るか分かりませんが、たった一言で傷つけられた経験を私だからこそ、言葉の一言一言の重みを知ることが出来た気がします。この経験を活かし、たった一言で人の心を傷つける側になるのではなく、たった一言で人の心を温められる側になれるように、言葉選びには気を使っていきたいと思えます。  
 友達だから、家族だからと言って、何をやってもいい、何をしてもいいという訳ではなく、誰に対しても気づかいの出来る人になりたいです。それを続けていくことで、私が経験した嫌な気持ちも乗り越えられたらいいと思います。

### (最優秀賞) 大事な言葉との出会い

千代田中学校1年 岡村 穂香

## 人権教育啓発ポスター入選作品

### 《小学生の部》



西小学校3年 坂本 匠音 (最優秀賞)

## 人権教育啓発ポスター入選作品

### 《小学生の部》



東小学校5年 関根 唯真 (最優秀賞)

見つめよう わたしの人権

考えよう あなたの人権

